

第90回東北地方交通審議会  
船員部会 議事要録

平成28年 4月28日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会

## 第90回船員部会

日 時 平成28年4月28日（木） 15：30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、高橋(真)部会長代理（欠席）、佐々木委員（欠席）、船津委員（欠席）

労働者委員 : 正路委員、鈴木委員、高橋(雅)委員

使用者委員 : 佐藤委員、鶴本委員、湯村委員（欠席）

運輸局 : 仲田海上安全環境部長、  
菅原海事振興部長、阿部海事振興部次長  
峯田船員労働環境・海技資格課長  
澤村船員労政課長、佐々木労政係長

議 題 (1) 管内の雇用等の状況について

(2) その他

### 配付資料

- 資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料（平成28年2月分）
- 資料2 新規求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料3 有効求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料4 新規求人・求職数（全国）
- 資料5 有効求人・求職数（全国）
- 資料6 有効求人倍率（東北管内）
- 資料7 有効求人倍率（全国）
- 資料8 海技者セミナー参加企業募集プレスリリース
- 資料9 人事異動
- 資料10 新聞情報

## 議 事 概 要

### ◎開 会

#### 【阿部海事振興部次長】

議事に入ります前に、4月1日付けで東北運輸局に人事異動があり、海上安全環境部長の交替がありましたので、新部長の仲田からご挨拶申し上げます。

#### 【仲田海上安全環境部長】

4月1日付で海上安全環境部長で参りました仲田でございます。どうぞよろしく申し上げます。

前職は中部部局で同じく海上安全環境部長の業務をしておりました。そういう意味では前職と継続して同じ業務を扱うということになります。

最近の船舶の安全について見ますと、この4月から第10次の海上交通安全計画が始まり、開始されました。その中で、今海難が年間約2,200件ぐらい起きているんですが、その中では、この5年間のデータ分の中で、最終年には2,000件程度、約1割削減するという目標が入っております。我々としては、国としてこういう目標が設定をされておりますので、その安全の一翼を担う者として、その削減に向けて全力を挙げていきたいと思っております。特に、最近ですと、海難のうち約7割は小型船舶が関係いたしますので、そういった小型船舶、あるいは漁船を中心に海難の事故の防止というところに努めていきたいと思っております。

それから、あとは、従来ですと船舶の安全が中心でありましたが、最近ですとテロの関係も非常に対策が重要となってきております。今年は日本でサミットが開かれますし、来月は宮城県でも閣僚会合が行われますので、そういったことも含めて特に海上のテロ対策、そういったところに力を入れていきたいというふうに思っております。

また、船につきましては、災害時、非常に力を発揮しますので、船、特に津波に対する対策、こういったものも船については求められておりますので、そういった点につきましても対策をとってまいりたいと思っております。

いずれにしましても、こういった対策に当たりましては、関係の皆様方のご理解とご協力を得ることが非常に重要であると思っておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。

#### 【阿部海事振興部次長】

仲田部長は、この後、業務の都合がありますので退席いたします。

－ 仲田部長退席 －

#### 【阿部海事振興部次長】

〔第89回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

## ◎議 事

### (1) 管内の雇用等の状況について

#### 【長谷部部会長】

それでは議事に入りたいと思います。

議題(1)管内の雇用等の状況について、事務局の方からお願いいたします。

〔澤村船員労政課長より資料1から資料7に基づき報告〕

#### 【長谷部部会長】

ありがとうございました。

大体皆さんおわかりだと思えますが、何かご質問、ご意見等ございますか。

#### 【高橋(雅)労働者委員】

東北管内の商船の求人について、「その他」が大分増えていますが、業種としては何になるのでしょうか。

#### 【澤村船員労政課長】

今回資料に記載されている八戸については、八戸港湾・空港事務所さんのほうで募集をかけられていたようですので、それが「その他」となります。他についての詳細は確認できていません。

#### 【高橋(雅)労働者委員】

そうすると、作業船か何か。

#### 【澤村船員労政課長】

そうなります。作業船や官庁船などです。

#### 【長谷部部会長】

よろしいですか。何かわかりましたら情報ください。よろしくお願いいたします。

そのほかございますか。

ありませんでしたら、これでご了承いただいたということで、進めさせていただいてよろしいですね。(「はい」の声あり)

はい、どうもありがとうございます。

### (2) その他

#### 【長谷部部会長】

それでは、続きまして、議題(2)その他に入ります。

いつものように委員の皆さんからの情報提供、よろしくお願いいたします。

では、労働者委員のほうからお願いします。

#### 【高橋(雅)労働者委員】

気仙沼で4月から4級、5級の海技講習が行われていまして、今年は航海士の方が12名、機関士の方が16名となっており、国家試験が6月7日に行われるとい

うことです。

あともう一点、以前、大島架橋の乗組員対策の関係で、宮城県に協議会の設置をお願いしていましたが、今日、第1回目の協議会立ち上げの会議がありました。協議会の名前が「気仙沼大島大橋建設に伴う旅客船対策連絡協議会」ということです。これは架橋開通までの間、航路を維持していくためには乗組員対策をどうするのか、それと架橋開通後の陸上の職員の方々も含めた、主に就職関係の対策になると思います。

【長谷部部会長】

では、もう前向きに動き始めたということですね。

【高橋（雅）労働者委員】

はい、そうです。

【長谷部部会長】

よかったですね。どうもありがとうございます。

【高橋（雅）労働者委員】

ありがとうございました。

【長谷部部会長】

そのほかにございますか。（「なし」の声あり）ない。

じゃ、使用者側、いかがでしょうか。鶴本委員、佐藤委員。

【鶴本使用者委員】

宮城県の北部船主協会からの情報というか報告をしたいと思います。

2011年の震災以降、本年4月21日現在の新人漁船員受け入れ数、これが79人となりました。受け入れ目標については、震災以降10年で100人を目標としておりましたが、あと1年半ぐらいで目標達成ができるんじゃないかという見通しを立てております。

離職率につきましては、全体で42.8%、うち遠洋まぐろ漁船の離職率は32.5%になっております。

震災以降の海技士取得者数は10人で、そのうち今年度取得見込み数が7人となっております。地元の気仙沼を初め、宮城県、それから東北地区からの応募が多くなってきております。今年に入ってから5人が東北地区から乗船しております。

宮城県北部船主協会の活動が全国的に認められまして、NHKドキュメンタリー番組の制作依頼を受け、3月2日から約2カ月間の密着取材が行われました。

「NHK東日本大震災プロジェクト 明日へつなげよう」という番組が5月15日、10時5分から10時53分までございますので、時間のある方は見ていただきたいと思います。再放送は、5月22日14時5分から14時53分までです。以上です。

【長谷部部会長】

誰か知っている方、出られたのですか。鶴本委員か誰か出られたのですか。

【鶴本使用者委員】

〇〇〇〇 部長が出ずっぱりでインタビューを受けたようです。

【長谷部部会長】

そうですか。じゃ、役所かどこかで録っておいてもらえばいいかな。

どうもありがとうございます。よろしいですか。アナウンスということですか。

ほかにいかがですか。佐藤委員。

【佐藤使用者委員】

前に新聞紙上でもにぎわせていましたが、十和田湖の遊覧船の組合が廃業したわけですけど、その船員については、数人が十和田観光電鉄に就職したということです。

旅客船業界では今年3年目になりますが、「こどもの日」に小学生の無料乗船を本部で企画しました。子供さんが大人になっても船に親しんでもらおうということで、子供さんの無料乗船を「こどもの日」を中心に実施する予定になっております。全国で80航路、66事業者がキャンペーンの趣旨に賛同して参加することになっております。「こどもの日」とそれからもう一つは「海の日」に実施する事業者も半分ぐらいありますので、幾らかでも子供さんが船に親しんでもらえればなと思っています。

以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。引率の親は払わなきゃいけないのですね。

【佐藤使用者委員】

そうですね。

【高橋（雅）労働者委員】

ちなみに東北ではどちらの事業者さんがやるのですか。

【佐藤使用者委員】

松島地区は2社ともやります。大島汽船とかは観光航路ではなく離島航路になっているので、そういうところはやっていません。10社ぐらいは参加する予定です。

【高橋（雅）労働者委員】

そうすると、浄土ヶ浜さんのところにも観光船ありますよね。

【佐藤使用者委員】

そうですね。浄土ヶ浜はまだ意思表示していないので……。

【高橋（雅）労働者委員】

そうですね。わかりました。

【長谷部部会長】

そのうち仙台も取り組むのでしょうから、期待したいところです。どうもありがとうございます。

それ以外にございますか。何か。

なければ、意見交換をこの辺で閉じさせていただきまして、事務局のほうからの情報提供があるということですので、お願いします。

【澤村船員労政課長】

それでは、2点ほどご説明させていただきます。

まず、資料8として添付しておりますが、「目指せ！海技者セミナー」についてです。今年もこの海技者セミナーを仙台で開催することとなりました。開催時期は、ここ数年9月に行っておりましたが、今年7月16日土曜日開催となります。これは宮古海技短大の先生から、7月頃の開催でないと、次年度の卒業予定

者はほとんど内定済みになる可能性が高いとのお話があったこと。また、水産高校の先生方からも、7月開催を要望する意見があったことから、そういった要望を踏まえての開催となりました。

まず、参加していただく企業の募集ということで、4月13日水曜日にプレスリリースをいたしました。昨年は、当初18社で参加募集したところ、ぜひ参加したいとの要望もあり、最終的に21社になりました。今年も同数の21社で募集しております。

今後、参加企業が決まった後、各水産高校、あるいは一般の求職者等に対して広く参加していただくよう、チラシを作成し、周知するという流れになっております。

あともう一点ですが、中型小型さけ・ますの流し網漁業の減船に関してです。さけ・ますの資源保護を目的として、ロシア政府はロシア200海里水域における同漁業を全面的に禁止する法案を今年の1月に成立させました。これにより、水産庁は、国際協定の締結等に伴う漁業離職者に関する臨時措置法、いわゆる漁臨法に基づく減船を平成28年3月31日付で行ったところです。

今後、減船により離職を余儀なくされた船員につきましては、漁臨法に基づき、再就職の促進と生活の安定を図るため、船員職業紹介等の強化と、再就職を支援するための給付金を支給することになります。

本省からの情報によりますと、該当する離職船員は二十数名程おり、うち東北出身者が数名、今のところ8名ということで聞いておりますが、含まれているとのこと。多くは北海道出身者のようです。

減船対象事業者がほとんど北海道内を漁業本拠地としていることから、今般、北海道運輸局の方から各漁協等を通じて、今回の手続関係について広く周知しております。

現在のところ、東北管内について、気仙沼海事事務所に1名の方が相談に来ているとの情報はありますが、他はないという状況です。

今後、該当の離職船員が窓口に来られた際は、適切に対応するよう、管内の支局等へは周知しているところです。

私からは以上です。

**【長谷部部会長】**

ありがとうございます。

労働者側のほうで何か補足説明等ございますか、今の点に関して。（「大丈夫です」の声あり）

**【鶴本使用者委員】**

今の説明だと、二十何名かが離職されたとおっしゃられましたよね。離職ということはどういうことなのですか。

**【鈴木労働者委員】**

完全にやめるということなのでしょう。

**【澤村船員労政課長】**

北海道の新聞情報によると、減船になった船舶数隻は公海のサンマ船にシフトするという記事があり、そちらに移る可能性もあるようです。

【鶴本使用者委員】

ほとんどがそうなるのではないのでしょうか。

【澤村船員労政課長】

そういう情報も聞いております。

【鈴木労働者委員】

船そのものをやめるところはないのでしょうか。

【鶴本使用者委員】

船そのものをやめるといっことはいいです。

【鈴木労働者委員】

いいですよ。そのあとは、サンマ船になりますよね。だから、その離職二十何人というのは、本人が船から完全に引退することなのではないでしょうか。

【鶴本使用者委員】

気仙沼に来られている方は、ほかの漁種に移動したいということか。

【澤村船員労政課長】

今回離職船員としてその船を降りてきているということですので、今後は、漁業離職者求職手帳の発給を受けて、就職促進手当等の給付金を受給する手続に入るとのことです。

【長谷部部会長】

鶴本委員のキャッチしている情報では、そういう動きに対して何かないですか。何かそういった動きに対して、キャッチしている情報はないですか。

【鶴本使用者委員】

うちの船も、去年まで調査漁業やっていたところ、指導船として声がかかりましたが、いろいろ検討した結果、とりやめました。

【鈴木労働者委員】

2隻行くのですよね。

【鶴本使用者委員】

〇〇〇と△△△が。

【鈴木労働者委員】

そうか。指導という立場で行くのですか。

【正路労働者委員】

ちなみに予定どおり出られそうですか。

【鶴本使用者委員】

出られるでしょう。

【高橋（雅）労働者委員】

要は、ロシアの買い付けする会社で国内の脱税が発覚したみたいで、船が出られるか出られないかという状況のようです。

【鶴本使用者委員】

「国内」って、ロシア国内ですか。

【高橋（雅）労働者委員】

ロシア国内で、その問題があるみたいですね。

【鶴本使用者委員】



それは初耳だ。

【高橋（雅）労働者委員】

その母船も1回出たら10カ月くらい沖にいるみたいです。

【鶴本使用者委員】

10カ月ですか。

【高橋（雅）労働者委員】

だから、サンマの加工をしたり、あとニシンとか魚種を変えてやるのでしょうね。主に缶詰と聞いています。

【鶴本使用者委員】

公海漁業も台湾とか韓国、それから中国がフォークランドでイカ釣りをやっているが、今年は漁がなかったそうです。それで、早く切り上げて公海漁業のサンマを狙っているみたい。そういう情報が入ってきた。

【高橋（雅）労働者委員】

去年はよかったのかな。

【鈴木労働者委員】

去年のイカはよかった。

【鶴本使用者委員】

去年のフォークランドはよかったが、今年は不漁だそうです。

【高橋（雅）労働者委員】

それもまたえらい競争相手の方ですね。

【鈴木労働者委員】

本当にね。このままでは資源が枯渇しちゃうんじゃないのかな。

【長谷部部会長】

すごく暗い情報交換になりましたが、もうよろしいですか。どうもありがとうございます。

それでは、ほかにありませんでしたら、本日の議事はこれで終了とさせていただきますが、よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

今回は皆さん中々集まることができず、ぎりぎりの開催でした。

また来月、5月27日の15:30からこの4階会議室で開催したいと思いますので、ご参集方よろしくお願いいたします。

◎閉 会